

コラボ!

第32号

2017.1

真岡市市民活動推進センター コラボ〜もおか 【運営団体】特定非営利活動法人ま・わ・た

特集

フードバンクでモオカを救う！ ～コラボ共催講座を通じて～

11/29 火

11月29日開催のコラボ共催講座は、「フードバンクがモオカを救う！～貧困を打ち破る手段を学ぶ～」と題して、特定非営利活動法人ま・わ・たとの共催で開催しました。講師の、認定特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク（以降Vネット）の徳山篤さんには、会の活動内容と運営を通して感じたことをお話しいただきました。（参加者13名）

■ フードバンクについて

まずフードバンクとはどういうものなのでしょう。一般的に「賞味、消費期限のある食品を受け取り、それを適切な場所へ流通させる仕組み（フードバンクシステム）」と「食品を集め倉庫などに貯蔵し、困窮している個人や世帯に食品を渡す仕組み（パントリー）」があるそうです。Vネットでは、目標としては後者を主流にしたいと考えているようです。配布する食品は、食べられるのに捨てられてしまう食品を企業、個人などから無償で譲ってもらうことで必要な量をキープしているとのことでした。

それらはどんな方へ渡されるのでしょうか。現在、日本では困窮者が年々増加しており、その中で何らかの理由で生活保護などを受けられな

い方は約8割にも上るとのことです。そういった方に対し、他の機関とも連携しながら支援を行っているそうです。

さらにVネットでは、食べ物のSOSだけでなく、他の困りごとに対しても対応しているということです。ボランティアに精通し、さらに行行政や専門機関とも連携を持つVネットだからこそ可能となる取組み方だと感じました。

■ 真岡市の現状は

現在、真岡市では人口の約1%※の方々が生生活保護を受けています。県全体では宇都宮に次いで2番目に支給の多い地域です。講座でも触れていたように、生活保護受給者の約5倍の人が困窮している可能性もあり得ます。目に見えない困窮者の状況を把握することが、真岡市でフードバンクを進める第一歩となるのではないのでしょうか？

■ フードバンクのこれから

フードバンクの取り組みは、無償性を保持することが肝心とのこと。一方で、拠点の確保など運営には活動資金をはじめとしたさまざまな支援も必要なのが現実です。活動を行うボランティアや寄付の協力、他組織との協力・連携を図って、ぜひ貧困という社会の課題を打ち破るきっかけになればと思います。



写真1: 講師の徳山氏



写真2: フードバンク倉庫の様子
(提供:Vネット 徳山氏)



写真3: 夜回り活動の様子
(提供:Vネット 徳山氏)



活動報告

第42回こらぼ茶話 「ミツバチのふしぎ」

10/1 土

講師に遠藤養蜂研究所所長の遠藤さんをお招きし、ミツバチについて経験を交えながら分かりやすくお話ししてもらいました。ミツバチの生態、特性、ロイヤルゼリー、蜜蝋、プロポリスなどから、スズメバチの毒についてまで、その内容は多岐にわたりました。

蜜蝋は30度になると固まらないためエジプトではできないことや、日本ミツバチと西洋ミツバチのスズメバチとの戦い方の違いなど、とても勉強になりました。

また、罌で捕えたスズメバチをハチミツ漬けにしたものなど、一風変わったものを見ることができて皆さんとても興味深そうでした。

お話の後は、ハチミツを使用したカステラ、いちごのスイーツを食べたほか、遠藤さんから参加者にハチミツのプレゼントもあり、盛りだくさんな講座となりました。(参加者16名)



第32回 ふれあいフェスティバル

10/16 日

真岡市総合福祉保健センターにて、第32回ふれあいフェスティバルが開催されました。

会場では、コラボレもおか登録団体の皆さんが出店しており、団体紹介や、小物の販売などを行っていました。当センター利用者協議会の皆さんもカレーライスを販売し、多くの方で賑いました。

また、野外ステージでは、舞踊、楽器演奏、ハワイアン演奏などが行われ、こちらでも登録団体の皆さんが活躍しており、最後は迫力満点のよさこい鳴子踊りで締めくくられました。

室内では昔の遊び体験や押し花作成などが行われ、子どもたちで賑わっていました。

イベントの最後にはおなじみ抽選会が行われ、大盛況のうちに終了となりました。

みなさんの笑顔がきらりとひかる、素晴らしい一日でした。



こらぼ～年会

11/26 土

今年もコラボレもおか利用者協議会の皆さんが中心となって「こらぼ～年会」が開催されました。

当センターを利用する参加者の皆さんが交流を深めるための恒例行事として毎年行われており、今年は真岡市公民館中村分館で行われました。

サラダとおいなりさんをみんなで手分けして調理しました。

また、そば打ち体験では、楽しみながらも真剣に打っていました。

お昼にはテーブルの上に並べられた料理を皆さんでわいわい楽しく、おいしくいただきました。

食後にはビンゴゲームを行いました。早く勝ち抜けた方から景品を選べるため、ビンゴはまだかとワクワクドキドキしながら楽しみ、大盛況のうちに終了しました。賑わいと笑いが絶えない、楽しい時間となりました。(参加者39名)



みんなで始めるコラボレーション! ～「環境保全」でつながる仲間と仲間～

11/27 日

真岡市公民館真岡西分館にて、「協働」の理解を進めることを目的とした講座を開催しました。

講義は、宇都宮大学特任研究員の土崎さんのミニ講座「『協働』ってなに？」から始まり、事例発表では、もおか環境パートナーシップ会議の吉川さん、いちがい子育てネット羽ばたきの永島さん、栃木県芳賀農業振興事務所の吉田さんにそれぞれの活動について語っていただきました。最後に参加者の質問を交えたトークセッションを行い、講座終了後には交流会を行いました。

どの話も、協働を知るためには非常に分かりやすく具体的で、参加者からは、「勉強になった」「また参加したい」など、好意的な意見をいただきました。

今後も、多くの方が「協働」の理解を深め、実践に繋がられるような場を作っていきたいと思います。(参加者10名)



登録団体紹介

寺久保切り絵愛好会

私たちの会は平成19年12月に発足。干支のねずみが始まりで毎年続け、今年で10周年です。

会員は現在12名で、作品制作は寺久保公民館で第2、第4金曜日の1時半から4時までです。1月と8月はお休みです。

1作品をだいたいひと月で仕上げています。

展示会は、寺久保公民館では2年に1回。コラボレもおかにも時々展示しており、平成28年は東海道53次を11点展示しました。また平成28年から井頭公園緑の相談所のホールでも行うようになり、50点のテーマごとに展示をしました。春休み・桜祭りと重なり、来場者は推定1,700人と大盛況となりました。ベトナムから研修に来ていた若者も来場し、体験制作を行いました。上手にできて大喜びで、国際親善も出来たと感じています。平成29年も同じ頃に井頭公園での展示会を開催する予定です。年1回切り絵展示会鑑賞を含めて、楽しい日帰り旅行も実施しています。

代 表：大久保 直重



二宮郷土史同好会

平成22年に発足し11名で活動を続けています。

毎月の例会は郷土史についてメンバーの持ち寄ったテーマで勉強し、自由に発言しあう和やかな時間を過ごしています。年一回は史跡の見学に出掛け、歴史に触れ合うこともメンバーの喜びです。

また、市文化課の要請で市歴史資料保存館のガイドボランティアも行っていきます。市内小学3年生の社会科見学と夏休み一般公開についても、ガイドを毎年行っています。

調べた資料が2～3年分貯まったら、みんなで記録冊子を作成します。歴史を通して話し合い、勉強し、自分を磨く会です。

代 表：川嶋 尚躬



楊名時太極拳真岡「桜」

楊名時太極拳は、中国武術を起源として日本に伝わった太極拳を“見せる太極拳”ではなく、華美な部分をそぎ落としより洗練された武術として受け継ぎ、敵と闘うためではなく、内臓や感覚など内面を修練するための柔拳として、老若男女を問わずだれでも取り組めるように考えられ生まれました。大河の流れのようにゆったりとした動きと深い呼吸で心を鎮め、気を巡らせるのが特徴で、継続することで健康寿命を維持することができます。

太極拳の特徴である複式呼吸は副交感神経を刺激し、内臓の動きを高め、ホルモンのバランスを整え、心身を安定させる効果があります。

楊名時太極拳真岡「桜」は、毎年4月に真岡・益子・小山の3グループが持ち回りで青空太極拳を開催するほかに、県内と北関東合同の練習会にも参加しています。

練習日は原則毎週水曜日午後、二宮コミュニティセンターで活動しています。見学・体験も歓迎ですのでお気軽にどうぞ!

代 表：松島 芳雄



新規 団体 紹介 (10月現在)

団体名	主な活動内容
ハワイアンドリーム	会員相互の親睦と福祉活動に努め、併せて健康を増進しハワイアの向上に努める。
アミーゴス	軽音楽の演奏によって高齢者福祉に貢献

センターより

■ コラボレもおか・活用術! その4 作品を展示しよう! ～こらぼひろばの使い方～

センターの一部は、「こらぼひろば」が設けられており、いろいろな展示に利用することができます。例えば、書や切り絵などの作品展示や団体の活動紹介に利用されています。展示することで、団体への問い合わせがあったり、仲間づくりにつながるといった話を聞きます。なにより、センターのブログやウェブサイトにも掲載されるので、団体PRにも役立てられます!



展示準備の様子



手芸作品



書道作品



活動紹介①



活動紹介②



ひろばの前で

展示するには

いくつかの点に同意していただく必要があります。

- ① 展示を希望する場合には、事前に予約をお願いいたします。
 - ② 展示は、原則として3週間です。
 - ③ 他の方に手を触れられては困るもの、高価な物の展示はお断りしています。
 - ④ 天災等不測の事態により破損した場合の補償はいたしかねます。
- 上記了解いただければ、センターに登録していなくても展示することができます。
(でも、これを機に登録していただけたらうれしいです。)

お気軽にセンタースタッフまでお声がけ下さい。

真岡市市民活動推進センター コラボレもおか

〒321-4507
栃木県真岡市石島893-15 真岡市二宮コミュニティセンター2F
TEL : 0285-81-5522
FAX : 0285-81-5558
z URL : <http://www.collabo-moka.net/>

【開館時間】火～金：9:00～21:00
土・日：9:00～18:00

【休館日】・毎週月曜日 ・祝日
・年末年始(12/29～1/3)

※その他イベント・施設管理の関係で臨時に休館になる場合があります。



◀ コラボレもおか
イメージキャラクター
コラちゃん(左)と
ボ〜れくん(右)

